

保育プラザ研修2023^{年度} WEB講座



さまざまなテーマの講座に加え、
キャリアステージに合わせた
職員研修講座をご用意しました。
ぜひ、ご参加ください。

●講座の種類と受講料 ＊時間 13:30 ～ 16:30

講 座	内 容	受講料
保育の基本 講座	年齢別の発達と保育、障がい児保育、食や安全などを、 基本から学びます。	各講座 6,500円/人
保育を深める 講座	子どもの主体性を尊重し、よりよい保育を実現するた めに大切にしたいことを、一步深めて学びます。	
実技講座 〈講義+演習〉	手やからだを動かして乳幼児のあそびの楽しさを体験 したり、実際に食べてみながら摂食機能のしくみを学 びます。 ＊定員50名	各講座 8,000円/人
職員研修講座 〈講義+グループ ワーク〉	日々の保育のなかでの気づきや悩み、疑問を出しあい ながら、保育施設の職員に求められる視点を学び、とも に考えます。 ＊定員50名	各講座 (2回セット) 15,000円/人

＊複数名で同じ講座を受講する場合も、必ず受講する人数分をお申込みください。

＊詳細は次頁以降をご確認ください。

開催方法

- ＊講義をインターネット上(WEB会議システム「Zoom」)で生配信します。
- ＊PC・タブレット等で「Zoom」に接続し、受講していただきます。
(安定したインターネット通信ができる環境をご用意ください)
- ＊チャット機能や音声機能を使って、講師へ質問することができます。



各講座、開催日の14日前までに、お申込みください。

主催●一般社団法人 保育プラザJAPAN

協賛●全国保育団体連絡会

〒162-0837 東京都新宿区納戸町 26-3 保育プラザ TEL:03-6265-3239 FAX:03-6265-3230

www.hoikuplaza.or.jp

保育の基本講座 子どもたちの一年の育ちを見通したい方に

【時間】13:30~16:30 【受講料】各6,500円/人

日 程	テ ー マ	講師(敬称略)
6/2(金)	障がいのある子どもの保育と援助 障がい児や発達の気になる子どもの理解と援助、多様性を保障する保育	三山 岳 (愛知県立大学)
6/5(月)	ゼロ歳児の発達と保育 心と身体の発達、モノや人とのかかわり、大切にしたいこと	小倉 直子 (小田原短期大学)
6/12(月)	1歳児の発達と保育 ダダコネ・かみつき、自我のめばえ、ことばの獲得、他者への関心とかかわり	坂上 裕子 (青山学院大学)
6/15(木)	食物アレルギーの理解と対応 食物アレルギーのしくみ、原因と症状、除去の考え方、保育園での対応	眞鍋 穰 (大阪健康福祉短期大学)
6/19(月)	3歳児の発達と保育 認識・イメージの発達、子どもどうしのつながり、つもり・ごっこあそび	小川 絢子 (名古屋短期大学)
6/22(木)	4、5歳児の発達と保育 あそび・生活、なかまとの育ちあい、おとなのかかわり	滝口 圭子 (金沢大学)
6/23(金)	2歳児の発達と保育 自我の育ち、認識の広がり、ことばの発達、友だちとのかかわり	瀬野 由衣 (愛知県立大学)
6/27(火)	摂食機能の発達と食事介助のポイント 摂食・嚥下機能の基本、食事介助の留意点、遊び食べ・むら食い	可野 倫子 (大妻女子大学非常勤講師・管理栄養士)
6/28(水)	保育園における衛生管理と感染症対策 健康管理・衛生管理の基本と考え方、よくある感染症、保育園での対応	多屋 馨子 (神奈川県衛生研究所 所長) 岩橋 孝祐 (神奈川県衛生研究所 主任研究官)
6/30(金)	1歳児の発達と保育 ダダコネ・かみつき、自我のめばえ、ことばの獲得、他者への関心とかかわり	照井 裕子 (湘北短期大学)
7/3(月)	2歳児の発達と保育 自我の育ち、認識の広がり、ことばの発達、友だちとのかかわり	河原 紀子 (共立女子大学)
7/5(水)	保育における食育と食事 食育の計画・実践・評価・改善、食への興味・関心を育む毎日の食事	野口 孝則 (上越教育大学大学院)
7/7(金)	ゼロ歳児の発達と保育 心と身体の発達、モノや人とのかかわり、大切にしたいこと	塚越 奈美 (山梨大学)
7/19(水)	なぜ起きる? 保育園での乳児の死亡事故 保育事故の実態と課題、うつぶせ寝の危険性、事故を無くすために *職員研修講座C①	藤井 真希 (赤ちゃんの急死を考える会)
	保育園における事故防止と安全管理のポイント 子どもの命を守るために知っておくべきリスク管理とは *職員研修講座C①	寺町 東子 (弁護士・子ども安全計画研究所)

保育を深める講座

子どもを尊重する保育をめざして一歩深めたい方に

【時間】13:30~16:30 【受講料】各6,500円/人

日 程	テ ー マ	講師(敬称略)
9/5(火)	なかまと共に深めていく幼児期のあそび 子どもたちが夢中になってあそび込むために大切にしたいこと	田中 浩司 (東京都立大学)
9/12(火)	1、2歳児の育ちに学ぶ 自我の育ちと人とのかかわり 子どもの感じる世界を理解し、充実した「今」を積み重ねるために	小川 絢子 (名古屋短期大学)
9/21(木)	学童期を見通して幼児期に大切にしたい視点 揺れる気持ちを支え、なかまとのかかわりの中で、心も体も豊かに育つために	長瀬 美子 (大阪大谷大学)
9/28(木)	困難をかかえた子どもと育ちあう保育 インクルーシブ保育と自己肯定感を支えるなかま意識	浜谷 直人 (東京都立大学 名誉教授)
10/13(金)	障がい児の理解と保護者支援 発達が気になる子・障がい児を理解し、保護者と手を取りあう *職員研修講座D①	五十嵐 元子 (白梅学園大学)
10/19(木)	よりよい保育のための職員集団づくり おとなだってわかりあって安心したい 違いを認めあう集団とは *職員研修講座EF①	平松 知子 (社会福祉法人熱田福祉会 理事長)
11/17(金)	ゼロ、1歳児が心地よく過ごせる保育 子どもを主体として安心をつくるためのおとなのかかわり	松田 千都 (京都文教短期大学)
11/30(木)	保育者が知っておきたい 子どもの権利条約と保育制度 「子どもの権利」の理解のために権利条約の基礎を学び、子どもの権利を守るための保育制度の役割を考えます	小泉 広子 (桜美林大学) 逆井 直紀 (保育研究所)

実技講座〈講義+演習〉

実際にからだを使って、あそびの楽しさや摂食嚥下機能を体験します

【時間】13:30~16:30 【受講料】各8,000円/人 ※定員50名

*定員になりしだい締切ります。受付状況を確認のうえ、お早めにお申込みください。▶hoikuplazakenshu.blogspot.com

*カメラのついたPC・タブレットをご用意ください。実技演習があるため、お互いの顔が見える形でご参加いただきます。

日 程	テ ー マ	講師(敬称略)
7/11(火)	心を通わせ楽しもう ふれあいあそび&手づくりおもちゃ 安心のなかで世界を広げていく乳児期に大切にしたい環境・かかわりとは ※ぬいぐるみ・ペン・紙コップなどを各自用意いただきます	頭金 多絵 (親子共室ぬくぬくだっころんど)
7/12(水)	「食べる力」は子どもの「発達力」と「生きる力」の原動力 摂食機能の発達・メカニズムと食事介助の実際を、実習で確かめながら学びます ※ヨーグルト・かっぱえびせん・飲み物などを各自用意いただきます	芳賀 定 (芳賀デンタルクリニック湘南)
7/14(金)	子どもと楽しむあそびのタネ イメージを広げる表現あそび あそびの魅力とは? 身体を動かし、たっぷりあそび、楽しさを広げるヒントをつかもう ※折り紙・新聞紙・はさみなどを各自用意いただきます	多田 純也 (ただいゅん企画)



職員研修講座〈講義+グループワーク〉 悩みや課題を出しあい、みんなで考えます

【時間】13:30～16:30 【受講料】各2回セット15,000円/人 ※定員50名

* 定員になりしだい締切ります。受付状況を確認のうえ、お早めにお申込みください。▶ hoikuplazakenshu.blogspot.com
(お申込みいただけるのは、①②の両日程参加できる方のみです)

* C、D、E、Fの①は、基本講座・深める講座と同じ講座です。重複して申込みないようにご注意ください。

* ①の講座を受けてレポートを提出していただき、それを踏まえて②の講座でグループワークをします。

* グループワークのある講座では、カメラとマイクのついたPC・タブレットを1人1台ご用意ください。

カメラとマイクをONにして、お互いの顔が見える形でディスカッションをします。



A 新人職員研修 (対象: おおむね1～3年目) *①②ともグループワークあり

日 程	テ ー マ	講師(敬称略)
①6/7(水)	保育の仕事とは? 保育の基本と大切にしたい視点 自分の保育を振り返りながら気づきや疑問を出しあい、実際のエピソードを通して、子どもの姿の背景や思い、ことばかけや援助を考えます	松本 博雄 (香川大学)
②11/14(火)	よりよい保育のための おとな同士の関係づくり 職員や保護者と理解しあうために大切にしたいことを考えます	青木 路子 (東京・つくしんぼ保育園 園長)

B 乳児保育 (対象: おおむね1～5年目) *①②ともグループワークあり

日 程	テ ー マ	講師(敬称略)
①6/8(木)	子どもの声を聴きとり、子どもとつくる乳児保育 「子どもの気持ちをわかる」とは? 声を聴きとる手がかり、受けとめるために必要なこと	松本 博雄 (香川大学)
②10/30(月)	乳児期の発達を手がかりに、豊かな生活とあそびを保障する保育 子どもの姿やエピソードを通して、保育者として大切にしたい視点やかかわりを考えます	

C 子どもの命を守る保育 (対象: おおむね7年目以上) *②のみグループワークあり

日 程	テ ー マ	講師(敬称略)
①7/19(水)	なぜ起きる? 保育園での乳児の死亡事故 保育事故の実態と課題、うつぶせ寝の危険性、事故を無くすために *基本講座と同じです	藤井 真希 (赤ちゃんの急死を考える会)
	保育園における事故防止と安全管理のポイント 子どもの命を守るために知っておくべきリスク管理とは *基本講座と同じです	寺町 東子 (弁護士・子ども安全計画研究所)
②8/29(火)	子どもの命と安全を守る保育・職員集団と園運営 職員一人ひとりの気づきを事故防止につなげるために、園として意識したいポイント	寺町 東子 (弁護士・子ども安全計画研究所)

D 障がい児の保護者支援 (対象: おおむね7年目以上) *②のみグループワークあり

日 程	テ ー マ	講師(敬称略)
①10/13(金)	障がい児の理解と保護者支援 発達が気になる子・障がい児を理解し、保護者と手を取りあう *深める講座と同じです	五十嵐 元子 (白梅学園大学)
②11/10(金)	保護者と信頼関係を築き、ともに育ちあうために 子ども・保護者・保育者がお互いの願いや困りごとを伝えあい、考えあう関係を目指して	

E おとな同士の関係づくり (対象: おおむね7年目以上) *②のみグループワークあり

日 程	テ ー マ	講師(敬称略)
①10/19(木)	よりよい保育のための職員集団づくり おとなだっってわかりあって安心したい 違いを認めあう集団とは *深める講座と同じです	平松 知子 (社会福祉法人熱田福祉会 理事長)
②11/21(火)	保護者と保育者の関係を育てるために大切にしたいこと 子どもを真ん中にして信頼しあい、理解しあうための関係づくり	清水 玲子 (元帝京大学)

F 働きやすい職場づくり (対象: おおむね7年目以上) *②のみグループワークあり

日 程	テ ー マ	講師(敬称略)
①10/19(木)	よりよい保育のための職員集団づくり おとなだっってわかりあって安心したい 違いを認めあう集団とは *深める講座と同じです	平松 知子 (社会福祉法人熱田福祉会 理事長)
②12/1(金)	職員がいきいきと働き続けられるための条件整備と環境づくり 保育者が安心して誇りをもって働くために必要な労働条件・職場環境を考えます	小尾 晴美 (中央大学)

申込み方法

申込締切 ▶ 各講座、開催日の14日前

1

申込書に必要事項を記入し、FAX送信する(03-6265-3230)

(団体申込書は保育プラザのHPからダウンロードできます → www.hoikuplaza.or.jp)

***必ず、受講する人数分をお申込みください**

***実技講座・職員研修講座には定員があります。**
受付状況をご確認のうえ、お申込みください。
hoikuplazakenshu.blogspot.com

QRコード



2

受講料を郵便局から郵便振替で入金する(申込みから3日以内に)

【郵便振替口座】 00110-5-514838 一般社団法人 保育プラザJAPAN

- *複数名分をまとめてご入金いただいてもかまいません。
- *郵便振替用紙の通信欄に「保育プラザ研修講座受講料」と明記し、受講者名、所属(保育園名など)をご記入ください。
- *振込手数料はご負担ください。

3

これにより、申込み手続きが完了します。

- *ご入金を確認できしだい、保育プラザから受講証をお送りします。
申込み内容(受講者番号・氏名・受講日など)をご確認ください。
控えとして、お手元に保管してください。

受講当日まで

研修資料・ID・パスコードは、**講座の3日前までに郵送**でお届けします。

- *Zoomを初めて使用する方は、あらかじめ**Zoomをインストール**してください。
(Zoomの公式テストページから動作確認ができます → <https://zoom.us/test>)
- *当日は、ZoomのアプリまたはHPで**IDとパスコードを入力**し、WEB講座にアクセスしてください。
(IDとパスコードは、研修資料の表紙に記載されています)
- *お問合わせの際は、受講者番号と氏名をお伝えください。
(受講者番号は、受講証・研修資料送付の封筒・研修テキスト表紙に記載されています)

【キャンセル】受講日14日前(申込み締切日)の15時までに連絡があった場合にかぎり、
手数料(1,000円)を差引いて返金いたします。

保育プラザJAPANとは

一般社団法人保育プラザJAPANは、保育関係者の募金等によって開設された会館・保育プラザを管理し、保育に関わる研修・研究活動を推進するために、2011年に設立されました。また、2018年度には法人内に共同研修センター部門を立ち上げました。

設立時から実施している保育プラザ研修は、首都圏を中心に全国の保育関係者から受講いただいております。受講者はこれまでのべ2万3千人以上にのぼっています。新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、2020年度からオンライン形式で実施しています。

